

# 平成14年度ホタテガイ採苗情報(第6報)

平成14年5月17日  
発行:岩手県水産技術センター  
協力機関:沿岸地方振興局水産部

「県内各地で、更に付着稚貝数が増加しています。」

## 1 ラーバの出現状況

5月15日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、殻長200 $\mu$ m未満が35個/トン、200 $\mu$ m以上が16個/トンと、前回調査時(合計128個/トン)より減少しました。

なお、調査時の水深10m層の水温は10.1 $^{\circ}$ Cで、5月1日以降、ほぼ同じ値で推移しています。

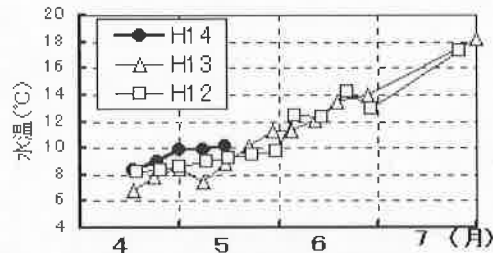


図 唐丹湾における水深10m層水温

## 2 試験採苗器への付着状況

5月13日以降の調査では、全調査地点で付着稚貝が確認されています。

付着数は、95~2,040個/袋でした。宮古地区の日出島でやや減少したものの、その他の地点では増加し、多くの稚貝が付着しています。

なお、唐丹湾では、その4割程度が付着直後の個体でした。

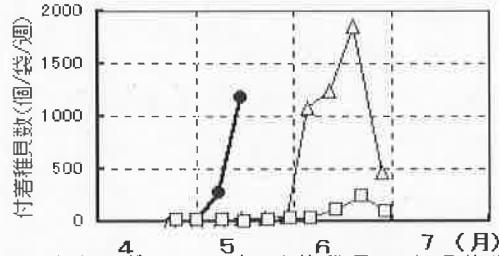
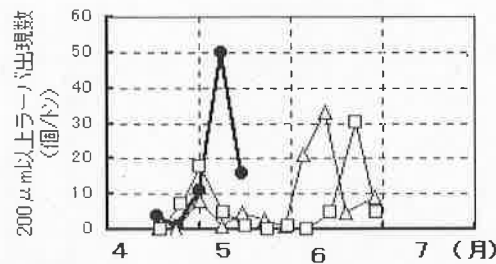


図 ホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況



図 調査地点および付着稚貝調査結果

ラーバは減少したものの、付着間近の大型の個体が確認され、付着稚貝数も増加しています。

しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

次報は、5月24日頃発行する予定です。